

## 目標達成計画

作成日: 令和8年 2月 9日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	虐待と身体拘束排除の委員会を一つにまとめており、1本化したことで協議記録が混在した形になっています。内容が具体的になるよう時間帯を分けておこない、記録も2つに分かれると話し合いが効果的になると考えます	虐待防止と身体拘束排の各専門性を高め、具体的かつ効果的な対策を立案、記録できる体制を構築する	①同日に開催する委員会の中で、前半(虐待防止)と後半(身体拘束)に時間帯を分けて協議を行う ②協議記録を2つに明確に分け、それぞれの項目で具体的な改善策や実施事項が際立つ形式で記録する	2ヶ月
2	35	BCPの策定と訓練は適切に実施しています。一方で実際職員が参集できない場合を考え、準備をおこなう必要があります	民生委員や地域住民との「なじみの関係」を構築し、職員不足時(災害時)でも相互に支え合える実効性のある協力体制を固める	①民生委員と連携し、地域の独居高齢者を施設のイベントや食事に招待する機会を設ける ②地域住民との対話を通じて顔の見える関係をつくり、災害時の安否確認や協力内容について協議を始める③職員が参集できない事態を想定したBCPに、これら地域との協力体制を具	6~12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。